【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公開番号】特開2012-208435(P2012-208435A)
【公開日】平成24年10月25日(2012.10.25)
【年通号数】公開・登録公報2012-044
【出願番号】特願2011-75923(P2011-75923)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/02　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/18　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　7/02　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13357　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/02　Ｃ
Ｂ３２Ｂ　27/18　Ｚ
Ｂ３２Ｂ　7/02　１０３
Ｇ０２Ｆ　1/13357

【手続補正書】
【提出日】平成25年8月16日(2013.8.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７３】
一般式（１）の有機ケイ素化合物の質量をＸ１、テトラアルコキシシランの質量をＸ２とするときに、｛Ｘ２／（Ｘ１＋Ｘ２）｝×１００で求めるテトラアルコキシシランの質量比率は、２０％以上９５％以下の範囲が好ましく、３０％以上９０％以下の範囲が特に好ましい。この範囲の質量比率とすることにより、架橋密度を高くすることができるので、十分に高い硬度をもつとともに脆性がより改善された第２の透明層１４を得ることができる。この質量比率が２０％以上の場合には、２０％未満の場合と比べて、架橋密度が低すぎることがなく、このため第２の透明層１４が十分に硬くなる。また、上記質量比率が９５％以下である場合には、９５％を超える場合に比べて、架橋密度が高くなりすぎることがない。このため、良好な柔軟性を有し、脆さがない第２の透明層１４がより確実に得られる。